

平成14年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社テクノ菱和
代 表 者 の 取締役社長 林 昭八郎
役 職 氏 名
(コード番号 1965 東証第2部)

問い合わせ先 常務取締役 田村 邦彦
電 話 番 号 03-3403-9865

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成13年11月21日に発表した平成14年3月期(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の通期業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成14年3月期通期業績予想数値の修正(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成13年11月21日発表)	60,000	1,400	100
今回修正予想(B)	57,000	300	1,010
増減額(B-A)	3,000	1,100	1,110
増 減 率	5.0	78.6	-
前期(平成13年3月期)実績	65,500	2,039	241

2. 平成14年3月期連結業績予想数値の修正(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成13年11月21日発表)	61,500	1,400	120
今回修正予想(B)	58,000	320	1,000
増減額(B-A)	3,500	1,080	1,120
増 減 率	5.7	77.1	-
前期(平成13年3月期)実績	66,926	2,036	139

3. 通期業績の修正理由

- (1) 売上高につきましては、下半期に入るとともに市況が急激に悪化し、大口受注予定先であった外資系大手半導体メ - カ - をはじめとした IT 関連企業からの設備投資計画の中止、延期が相次ぐ一方、業況堅調な製薬メ - カ - からの受注増加もありましたが、総体的に受注量の減少を余儀なくされ、加えて工事中断による工事延期等も加わり、売上高は前回予想を 5 % 下回る 57,000 百万円となる見通しとなりました。
- (2) 経常利益につきましては、受注量の減少にともなう完成工事高の減少、競争激化にともなう新規受注工事の採算低下、工事中断によるコスト負担増、特に工事施工中における追加・変更工事部分のコスト増加が影響し完成工事粗利が前回予想の 12.8% から 11.4% に低下することが確実な状況となりました。さらに、IT 関連客先の破綻による貸倒引当金の一般管理費計上等もあって、前回予想を 78.6% 下回る 300 百万円となる見通しとなりました。
- (3) 当期純利益につきましても、減損会計の適用による有価証券の評価損に加え、会員権評価損および保険積立金評価損を特別損失として計上せざるを得ない見通しとなり、前回予想を大きく下回り大幅な欠損を計上せざるを得ない状況となりました。

4. 連結業績の修正理由

売上高、経常利益、当期純利益とも上記要因を主な修正理由とするものです。

以 上